

東アジアにおける

漢文文化の伝播と流通

日時:2018年7月21日(土) 9:00-17:30

会場:二松學舎大学 九段校舎 1号館 2階 201教室
東京都千代田区三番町6-16

9:10-10:00 基調講演:「マリア・ルス号事件と漢詩」

佐藤 保 (学校法人二松學舎 顧問)

I 東アジアの国際関係と漢学

10:00-10:30 「江戸文学とドラマにおける台湾史—鄭成功から朱一貴まで」

藍 弘岳 (台湾國立交通大学 副教授)

10:30-11:00 「江戸時代における日本知識人のソーシャルネットワークと海外情報

—木村兼葭堂と森島中良を中心として」

劉 序楓 (台湾中央研究院 人文社会科学研究センター 研究員)

11:00-11:30 「十八世紀における朝鮮文人の燕行経験と清国の物質文化の書写

—白塔派の交遊と影響を中心に」

許 怡齡 (中國文化大學韓國語文學系韓國學研究中心 副教授)

11:30-12:00 「幕末考証学者の業績とその中国における受容」

町 泉寿郎 (二松學舎大学文学部 教授)

II 仏教にみる東アジア文化交流

13:00-13:30 「黄檗宗詩僧南源性派研究序説」

廖 肇亨 (台湾中央研究院中国文哲研究所 研究員)

13:30-14:00 「幕末維新时期における真宗僧の海外情報受容について

—松本白華・北方心泉を例として—

川邊 雄大 (二松學舎大学文学部 講師)

14:00-14:30 「布袋の変貌:『布袋物語』の考察」

陳 繼東 (青山学院大学 国際政治経済学部 教授)

III 中国文化の日本への伝播

14:45-15:15 「江戸時代における胡文煥<女訓書>の受容について」

林 桂如 (政治大学 中国文学系 助理教授)

15:15-15:45 「『本草綱目』から『物類品鑑』—平賀源内の本草思想研究序説」

張 哲嘉 (台湾中央研究院 近代史研究所 副研究員)

15:45-16:15 「江戸時代における墨文化に関する中日交流—古梅園を中心に—」

王 宝平 (二松學舎大学文学部 教授)

16:15-16:45 「中国書画骨董の日本流入—衣笠豪谷の漢文体未刊日記を中心に—」

張 明傑 (慶應義塾大学 講師・浙江工商大学 特別招聘教授)

16:50-17:30 総合討論